

人口・社会統計部会の審議状況について  
(社会生活基本調査の変更)(報告)

資料1-2

項目	変更内容等	部会審議		審議の状況
		第1回	第2回	
1 計画の変更 (1)調査事項・集計事項の変更	<p>○ i)国際比較可能性の向上、ii)生活様式の変化等を踏まえた利活用ニーズ、iii)報告者負担の軽減等の観点から、調査事項を見直すとともに、その内容に合わせて、集計事項も見直し。その内容は、以下のとおり</p> <p>a 国際比較可能性の向上等の観点から、「慢性的な健康問題・日常生活への支障の程度」を追加【別紙の1参照】</p>	●	●	<p>・第2回部会において引き続き審議</p> <p>【委員からの主な意見】</p> <p>◆調査事項の追加すること自体に異論はないが、「慢性的な病気や健康問題」という表現だと、糖尿病や腰痛などを発想する方が多いと思われる。障害を持ちつつも、そういった慢性的な病気がない人が、自分は該当しないと判断してしまい、調査結果から漏れる可能性があると思う。「調査票の記入のしかた」での説明だけでなく、調査票上の表現も、国際的な表現を保ちつつ、分かりやすい表現にしてほしい</p> <p>◆調査票では「非常に支障がある」、「ある程度支障がある」とだけ記載されており、日常生活の支障の程度が個人の判断に委ねられてしまい、プレが大きくなると思うので、もう少し工夫してほしい</p> <p>◆「ふだんの健康状態」と「慢性的な健康問題」と類似する調査事項が並んでおり、報告者が混乱するかもしれない。一方で、従前から把握していた「ふだんの健康状態」を変更すると、統計の時系列が損なわれると考える。報告者が両事項を混乱しないで回答できるように、調査実施者の方で再整理・再検討してほしい</p>
	<p>b 生活様式の変化や利活用ニーズ等を踏まえ、調査事項を変更(例)</p> <p>・介護支援の利用の状況について、世帯単位から個人単位で把握する方式に変更</p> <p>・スマートフォン・パソコンなどの使用状況を15分ごとに把握できるよう変更</p> <p>・学習・自己啓発・訓練の方法の選択肢のうち、「ハローワークを通じた職業訓練など」を削除</p>	●	●	<p>・一部事項を除き、おおむね適当と整理 (社会経済情勢の変化や利活用ニーズ等に対応するもの)</p> <p>【委員からの主な意見】</p> <p>◆調査事項「学習・自己啓発・訓練について」の方法の選択肢のうち、「ハローワークを通じた職業訓練など」について行動者割合が低いことを理由に削除する案となっているが、失業者が職業訓練を受けていることを踏まえると、そこまで低くないのではないか。また、職業訓練は公費が入っており、EBPMの流れを考えると、政策判断のデータにもなり得るものであり、慎重に検討すべき【別紙の2参照】</p> <p>⇒第2回部会で引き続き審議</p>
	<p>c 報告者負担の軽減等の観点から、i)生活時間配分の把握に当たり、併せて把握していた調査日の天候、ii)住居の種類及びiii)自家用車の有無を削除</p>	●	●	<p>・一部事項を除き、おおむね適当と整理 (調査結果の利活用が低調であり、報告者負担を課して把握する必要性に乏しいもの)</p> <p>【委員からの主な意見】</p> <p>◆「自家用車の有無」を削除しても支障がないのかを確認するため、前回調査の結果のうち、自家用車の有無による主な生活時間の使い方が分かるデータを示してほしい【別紙の3参照】</p> <p>⇒第2回部会で引き続き審議</p>

項目	変更内容等	部会審議		審議の状況
		第1回	第2回	
(2) 調査方法の変更	① オンラインによる回答方法について、スマートフォンやタブレット等の情報通信機器による回答方法を導入	●		<p>・<b>おおむね適当と整理</b> (前回答申における今後の課題等を踏まえた対応であり、報告者が回答する際の選択肢の拡充や利便性の向上に資するもの)</p> <p>【委員からの主な意見】 ◆生活行動を時間に沿って細かく記入する本調査について、スマートフォンで回答するのは困難だと思う。前回答申の今後の課題では、「検討する必要がある」に留まっているので、検討の上、利活用が見込めるような開発ができない場合には、断念することも考えられる</p> <p>◆スマートフォンによる回答について、今後、業者との間で詳細を検討してもらい、調査実施者が想定しているスケジュールに沿って、スマートフォンでも回答できるような取組を行ってほしい</p>
	② 災害や感染症等に伴い、調査員調査が困難な場合は、郵送調査も可能にする計画	●		<p>・<b>適当と整理</b> (統計業務の継続性を確保するためのもの)</p> <p>【委員からの主な意見】 ◆災害等によって郵送調査を実施する場合には、調査員による説明がなくなるため、電話で報告者からの質問を受け付けるなどの措置を講じるべき</p>
(3) 調査の実施期間の延長	○ 本調査の実施期間について、これまでの25日間から27日間に2日間延長		●	(第2回部会で審議)
(4) 報告者数の見直し	○ 調査票Aの報告者数を約83,000世帯(10歳以上の世帯員約186,000人)から約86,000世帯(同約183,000人)に変更		●	(第2回部会で審議)
2 前回答申(平成28年1月21日)における「今後の課題」への対応状況について	○ 前回答申では、以下のとおり指摘されていることから、その対応状況等を確認  報告者の利便性の向上を図り、オンライン調査の更なる利用を促進する観点から、今後の情報通信技術の更なる発展及び政府統計共同利用システムの改修状況等も勘案しつつ、次回調査(令和3年調査)に向けて、パソコン以外に、スマートフォンやタブレット等の他の情報通信機器による回答が可能となるよう検討する必要がある。検討に当たっては、今回のオンライン調査の結果についても検証を行い、その結果をも踏まえ対応する必要がある	●		<p>・<b>おおむね適当と整理</b> (上記1(2)①を参照)</p>

(注) 第1回(第116回人口・社会統計部会)は11月11日(水)に開催  
第2回(第117回人口・社会統計部会)は、12月9日(水)に開催予定

1 令和3年社会生活基本調査 調査票A (抜粋)

02

**1 氏名・男女の別**  
 (氏名) \_\_\_\_\_ 男  女

**2 世帯主との続き柄**  
 ・世帯主の配偶者(夫または妻)の祖父母・兄弟姉妹は それぞれ**祖父母・兄弟姉妹**に含めます  
 ・孫の配偶者は**孫**に 兄弟姉妹の配偶者は**兄弟姉妹**に含めます

世帯主	世帯主の配偶者	子	子の配偶者	孫	世帯主の父母	配偶者の父母	祖父母	兄弟姉妹	その他
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

**3 出生の年月**  
 ・該当する元号または西暦に記入した上で 年・月を記入してください  
 ・年を西暦で記入する場合は 西暦年の4ケタを記入してください

明治  大正  昭和  平成  西暦

年   月

**4 配偶者の有無**  
 ・届出の有無に関係なく記入してください

未婚  配偶者あり  死別・離別

**5 教育**  
 ・「在学中の人はその学校」「卒業」の人は最終卒業学校(中途退学した人はその前の学校)について記入してください  
 ・学校の区分については「調査票の記入のしかた」をごらんください

在学中  卒業  在学したことがない

小	中	高校・旧制中	専門学校(修業年限)	短大・高专	大	大
学	学	学	1年以上未 2年以上未 4年以上未	学	学	学
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

**6 ふだんの健康状態**  
 ・ふだんの生活への影響の有無などにより もっとも当てはまるものを記入してください

良  ま  ふ  あ  良  良   
 い  あ  つ  ま  良  良   
 い  り  う  り  くない  くない

10~14歳の人  15歳以上の人

4ページ20欄へ  右段7欄へ

**7 慢性的な健康問題 日常生活への支障の程度**  
 ・もっとも当てはまるものを記入してください

慢性の病気や健康問題

ある  ない

日常生活に非常に支障がある  日常生活に一定支障がある  日常生活に支障はない

支障は6か月以上継続している  支障は6か月以上継続していない

**8 ふだん介護を受けていますか**  
 ・介護とは 日常生活における入浴・着がえ・トイレ・移動・食事などの際の手助けや洗濯・掃除などの家事援助などを行うことをいいます  
 ・介護には 介護保険法における要介護認定や 障害者総合支援法における障害支援区分の認定を受けていない人に対する介護も含めます  
 ・一時的な病気などに対する介護は除きます

(当てはまるものすべてに記入してください)

自宅に住んでいる人が受けている  自宅外に住んでいる人から受けている(親族・訪問介護・デイサービスなど)  介護を受けていない

月に3日以内  週に1日  週に2日  週に3日  週に4~5日  週に6日以上

**9 ふだん家族の介護をしていますか**  
 ・介護している家族が自宅外にいる場合は 介護している家族が住んでいる場所について記入してください

(当てはまるものすべてに記入してください)

65歳以上の家族を介護  その他の家族を介護  介護をしていない

自宅内  自宅外  自宅内  自宅外

同じ敷地内または近くに住んでいる(徒歩で5分程度)  その他  同じ敷地内または近くに住んでいる(徒歩で5分程度)  その他

**10 ふだん仕事をしていますか**  
 ・仕事とは 収入を伴う仕事をいい 自家営業(農業や店の仕事など)の手伝いや内職・アルバイトなども含めます  
 ・通学には 予備校・専修学校・各種学校などに通っている場合も含めます  
 ・育児休業や介護休業などのため仕事を一時的に休んでいる場合は「仕事をしています」とします

仕事をしている人  仕事をしていない人

おもに仕事  家事などの  通学の  家事  通学  その他   
 かたわらに仕事  かたわらに仕事

**11 仕事をしたいと思っていますか**

仕事をしたいと思っている  仕事をしたいと思っていない

仕事を探している  仕事を探していない

3ページ19欄へ  4ページ20欄へ

## 2 調査票新旧対照表（抜粋）

令和3年調査（案）	平成28年調査
<p>(3)どのような方法でしたか (当てはまるものすべてに記入してください)</p> <p>学級・講座・教室など 市町村等が行うもの 民間が行うもの 大学等が行うもの</p> <p>講演会など</p> <p>通信教育</p> <p>自学・自習</p> <p>勉強会など</p> <p>各種学校・専修学校</p> <p>その他</p>	<p>(3)どのような方法でしたか (当てはまるものすべてに記入してください)</p> <p>学級・講座・教室など 市町村等が行うもの 民間が行うもの 大学等が行うもの</p> <p>講演会など</p> <p>通信教育</p> <p>テレビ・ラジオ</p> <p>職場での時間外</p> <p>各種学校・専修学校</p> <p>ハローワークを通じた職業訓練など</p> <p>その他</p> <p>削除</p>

## 3 平成28年社会生活基本調査 調査票A（抜粋）

26 自家用車の有無 ・業務のみに使用している車は除きます	あり ○	なし ○
----------------------------------	---------	---------